

第32回全情連大会（ANIA 広島大会） 1

今年の全国大会はノーベル平和賞受賞者世界サミットと同じホテルでの開催となりました。ホテル内は ANIA 関係者とノーベル平和賞関係者だけであり、ホテル入り口には大勢のマスコミが陣取り、ホテル内にはたぶんSPと思われる目つきの鋭い人たちがいる中での開催となりました。

11月11日(木)

(1) 10:00～12:30 事務局長連絡会議

窓からは瀬戸内海が一望でき、埠頭では多くの釣り人が集う長閑な風景が広がる会議室での開催です。はじめに午後から行われる全国大会の注意事項や事務連絡など行いました。その後、各協会からの報告事項について質疑応答を行い、各協会の共通課題として会員減少問題について、それらの対処方法や各協会の取組みなどを話し合いました。また、ANIAとしての活動を明確化していくためにも、各協会が定期的実施しているアンケート調査をもとに共通調査を行うことなどが話し合われ、議論が白熱し昼食時間を削っての会議となりました。



事務局長連絡会議

(2) 13:00～13:45 理事会

事務局長連絡会議と同会議室での開催のため、準備と模様替えに手間取り若干遅れての開始となりました。まず始めに全国大会の進行内容や来賓の到着予定時刻など事務連絡を行いました。その後、来年の新春交歓会や全国大会の開催日時・内容が報告され、事務局からは上期の活動状況、経費の使用状況を報告しました。最後に ANIAらしい活動をより積極的に行っていくことが確認されました。



中村会長挨拶

(3) 14:00～14:40 広島大会・式典

広島県情報産業協会 内海会長の開会挨拶、ANIA 中村会長の主催者挨拶に続き、ご来賓の広島県知事 湯崎英彦様、経済産業省 商務情報政策局 地域情報化・人材育成推進室長 土橋秀義様、総務省 情報流通行政局 地方情報化推進室長 西泉彰雄様からご祝辞を頂きました。

その後大会表彰を行い、優秀役職員表彰2名、優秀技術表彰1名が表彰され、ご来賓、ANIA 役員と記念写真を撮り式典は終了いたしました。



大会表彰者

(4) 15:00～16:20 基調講演「クラウド化の流れと地域IT産業の振興」 グーグル株式会社 名誉会長 村上 憲郎 様

クラウドやアンドロイドなど最近良く聞くキーワードにグーグル社が絡まない事は無いというくらい、情報産業界に多大な影響力を与えています。そして、『世界の情報を整理して、世界中の人がアクセスできて、使えるようにする』という基本ミッションを掲げて、ユーザへは無料で提供しています。我々はどうのように対応していけば良いのか、地域情報産業が自立的産業に転換する為にも貴重なお話を頂きました。

グーグル社ではコンテナ型データセンターやサーバの冷却電力をゼロにする為の取組として、『グリーン・ニューディール』政策に添い、『再生可能エネルギー』や『スマートグリッド』へのコミットメントを深めている事例などが紹介されました。個人的には収入の97%が広告収入であることが一番の驚きでした。



基調講演

第32回全情連大会（ANIA 広島大会） 2

(5) 16:40～17:40 分科会(A)「地域における Ruby を活用したビジネス戦略」

Ruby アソシエーション 理事 井上 浩 様

分科会(B)「組込型アンドロイドの現状と地域ビジネス」

一般社団法人OESF 代表幹事 三浦 雅孝 様

2つの分科会に分かれて生産性の高さから注目されている「Ruby」を活用した地域ビジネス戦略と携帯の組込みシステムとしてすでに iPhone を抜いたといわれる「Android」の現状と地域ビジネスについてご講演を頂きました。どちらも大変興味深い内容であり、かなり迷われた方もいたようです。オープンソースを用いた開発がこのように主流になってくると、IT 業界のビジネスモデルも大きく変化し、ソフトウェアやハードウェアを作っているだけではダメで、必要に応じてソースコードを改良し、より優れた製品を開発し、独創性をもったサービスを作っていくことが重要なのではないかと感じます。オープンソースではありませんが、iPhone はミュージックプレイヤーに携帯を付けたという、逆の発想(独創性)が成功の要因と思いました。三浦氏がマーケットは世界に存在する、疲弊しているのは地方ではなく皆さんの顔である。とても印象に残った言葉です。



(6) 18:10～19:30 懇親会

広島県情報産業協会の内海会長の挨拶に続き、ご来賓の経済産業省 中国経済産業局長 井辺国夫様、総務省 中国総合通信局情報通信部長 笠木繁樹様からご祝辞、広島県 商工労働局長 津山直登様から乾杯のご発声を頂き、和やかに懇親会が行われました。平和大通で行われるイルミネーションのオープニングセレモニーのため遅れてこられた広島市長 秋葉忠利様から開催地歓迎の言葉を頂きました。

広島は神楽が盛んに奉納されている地域であり、江戸時代から伝わる「諸木十二神祇神楽」の舞を堪能し、広島焼きの屋台では多くの方が並んでおり、なかなか食べることができない程の人気でした。

来年の開催地は京都で行うことが決定しており、視察を兼ねてたくさんの方が京都からお見えになりました。

最後に広島県情報産業協会の中元副会長から中締め挨拶があり、2次会は各自の予算と趣向に合わせて用意された複数のプランから選択して参加し、その後それぞれがネオンの中に消えていきました。



11月12日(金)

(1) エクスカーション

エクスカーションとしてゴルフ、大和ミュージアム見学、宮島見学コースに分かれ、楽しいひと時を過ごし帰路につきました。

最後になりましたが開催にあたり、広島県情報産業協会の方々大変お世話になりました。素晴らしい大会が開催できましたことに感謝しお礼申し上げます。

(ANIA 事務局 武田雅哉)

